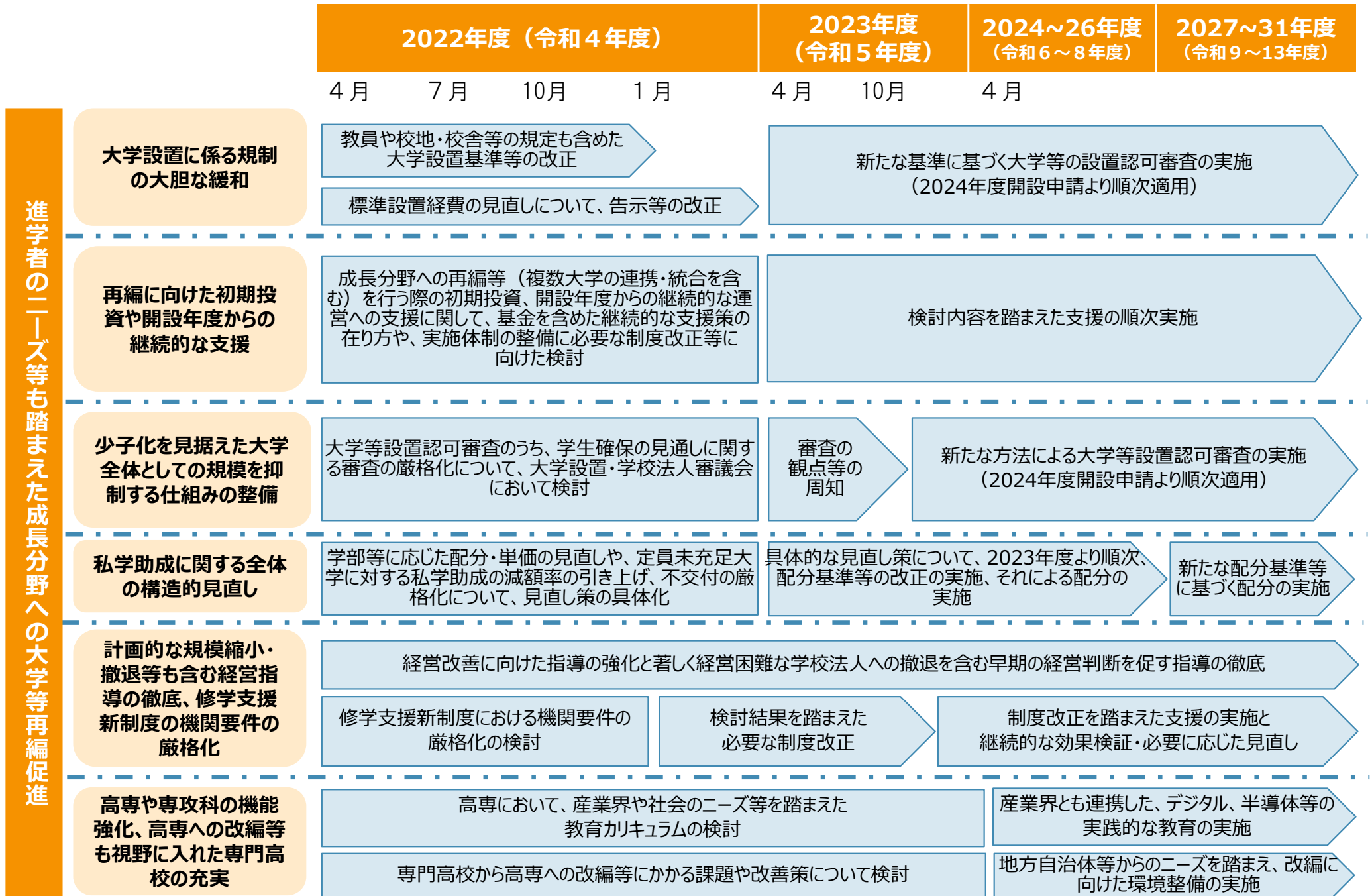


1. 未来を支える人材を育む大学等の機能強化 —自然科学分野を専攻する学生の割合を5割程度へ—



2022年度（令和4年度）

2023年度
（令和5年度）

2024～26年度
（令和6～8年度）

2027～31年度
（令和9～13年度）

4月 7月 10月 1月

4月 10月 4月

大学入学者選抜での
文理横断の観点から
の出題科目見直しの
促進

大学入学者選抜について、教学マネジメント指針を見直し、各大学に周知

各大学の取組内容について、好事例の収集・公表などのフォローアップを通じた取組の促進

リベラルアーツ教育の
強化や複数専攻の学
修の促進

学修の幅を広げる教育の推進等について、中央教育審議会大学分科会において審議

左記検討の結論を踏まえ、必要な対応策の検討・実施

レイトスペシャライゼー
ションや入学後の専
攻分野の転換、編入
学など複線的・多面
的な学びの実現

文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム（レイトスペシャライゼーションプログラム、ダブル・メジャープログラム、分野融合の学位プログラム等）を構築・実施する大学等の取組の支援

事業の成果等についての情報発信

学部等の枠を超えた学生募集の周知

各大学の取組内容について、好事例の収集・公表などのフォローアップを通じた取組の促進

総合知を育成するた
めのインセンティブ付与

修学支援新制度における機関要件の審査への反映について検討

検討結果を踏まえた必要な制度改正

制度改正を踏まえた支援の実施と継続的な効果検証・必要に応じた見直し

総合知の育成に積極的に取り組む大学に対する、運営費交付金や私学助成の配分による、各大学の取組へのインセンティブ付与

取組の成果を踏まえ、必要な方策を検討・実施

ST比の改善等による教
育体制の充実化

学修者本位の教育の実現、「出口の質保証」が徹底され、社会との「信頼と支援の好循環」を形成する仕組みづくり等について、中央教育審議会大学分科会で審議

左記検討の結論を踏まえ、必要な対応策の検討・実施

学修成果・教育成果に
ついての情報公表の取
組に対する評価促進・
認証評価結果の公表

必要な制度改正の具体的内容の検討、認証評価結果の一覧性をもった公表の具体的方法について認証評価機関等と協議

左記検討を踏まえた制度改正の実施

制度改正を踏まえた対応

学修成果・教育成果等についての情報公表の取組に対する評価促進、一覧性をもった認証評価結果の公表

理工系や農学系の分野を
はじめとした女性活躍推進

女子学生の確保等に積
極的に取り組む
大学への基盤的経費に
よる支援強化

入学者選抜実施要項の見直し

各大学の取組内容について、好事例の収集・公表などのフォローアップを通じた取組の促進

理工系等の女子学生確保に取り組む大学に対する運営費交付金や私学助成による支援

取組を推進する大学に対し、運営費交付金や私学助成による支援の実施

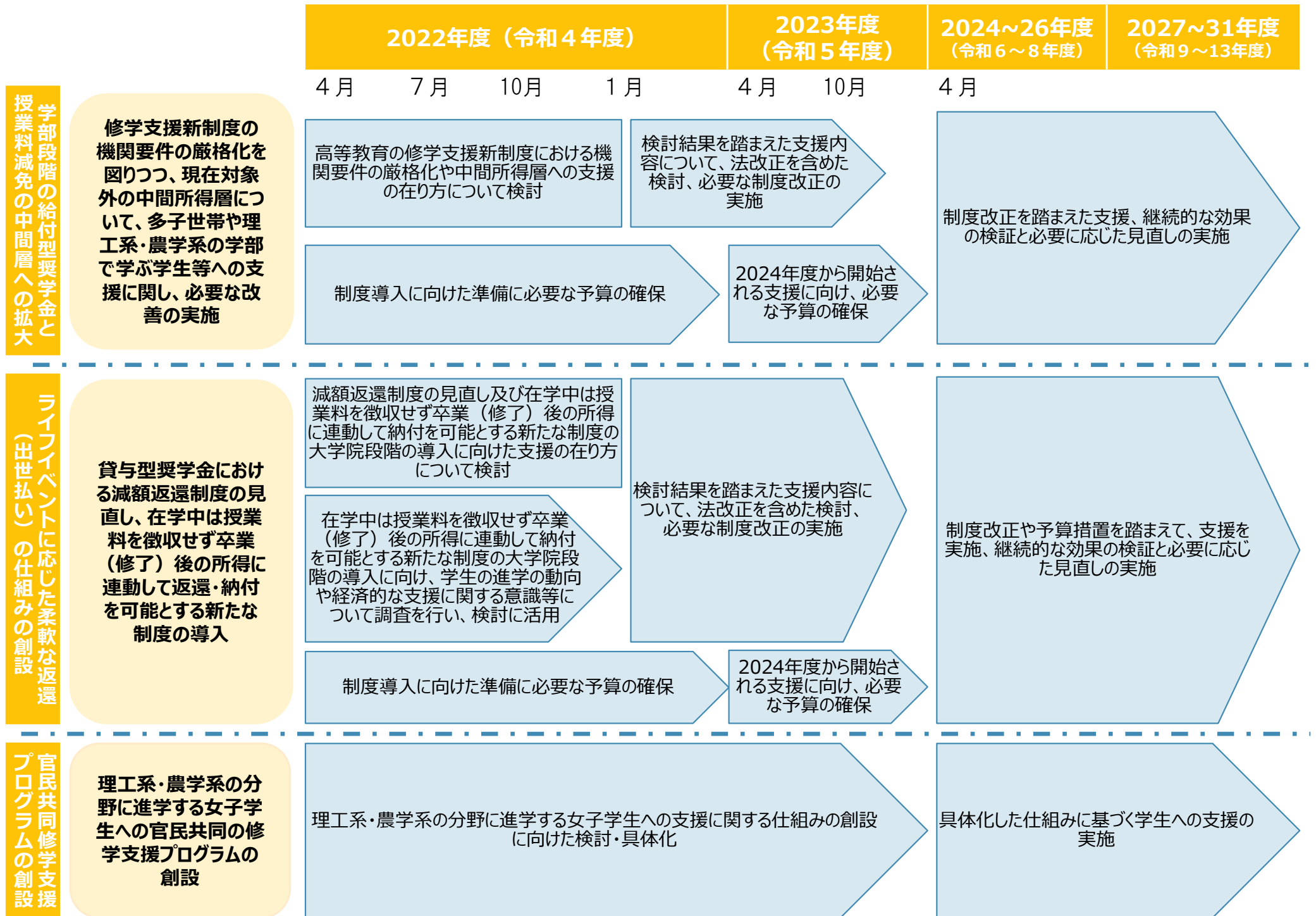
大学ガバナンスコードの
見直し、女性の
在籍・登用状況等の情
報開示の促進

女性管理職の登用拡大に向けた公立大学のガバナンスコードの策定に向けた取組推進

女性管理職の登用拡大に向けた私立大学のガバナンスコードの見直し、改定に向けた取組推進

女子学生、女性教員の在籍・登用状況について更なる情報開示の促進

2. 新たな時代に対応する学びの支援の充実 —誰もが家庭の経済事情に関わらず学ぶことのできる社会へ—



3. 学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備 —生涯にわたって学び続ける社会へ—

